

第45期モットー「お客さまに喜んでいただけるプロになろう！」Ⅲ
－5分前・前準備・後始末－

「幸せを願って」

NO.215

H. 24. 6. 10

(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 梅雨入りが遅れているのでしょうか、朝夕さわやかな日々が続いています。近所の水田を耕し始めた方が、今年は水が少ないとこぼしていました。

さて、この6月から社内では昼休みを15分短縮し45分とし、業務終了時間を5時15分に早め、主婦の多い職場ですので少しでも早く帰られるようテストします。近頃では、レギュラーやサーヴさんを中心に早く出勤してくださる働きさんが増えてきました。一番早い方は倉庫管理の矢野さんが7時前に、それから次々に専務、安岡さん、塩出さんと続きます。あっそうだ、5時過ぎには真美さんが玄関や窓を開けてくれています。昔から「早起きは三文の徳」「朝の早い人は自分の人生を制する」、成功者のリズムを有すると言われていています。若い時はなかなか難しいものですが、年と共に、親になれば尚更早起きを目指しましょう。

早起きをして一日の段取り、前準備をします。家庭では、まず起床後のモップ掛け、そして、子どもたちが起きてくる前の色々な準備があります。今では、殆どが共働きですので、父親もボヤボヤしてはおられません。育児や家事の協力は当たり前になってきました。一日の終わりには、片づけをして明朝気持ちよくスタートできるよう後始末をしておきます。(たまの日曜ぐらいは、朝をゆっくりするのもいいかもしれませんね。)

日々の規則正しい生活習慣が子どもたちにも良き影響を与えます。この間、佐藤芳直先生のご本に、こんなことが書かれていました。

【ある進学塾のコンサルティング現場で、塾長に子どもを優秀に育てる簡単な方法を教えてもらったことがあります。

小学校に入学したとき、母親はできれば二ヶ月は子どもの帰宅時に家にいてあげることです。そして、帰ってきた子どもに、「勉強しなさい。予習はしたの？」などとは決して言うてはいけないというのです。

「今日は何が一番楽しかったの。お母さんに教えて」

そう尋ねるのです。子どもの答えに怒ってはいけませんよ。そう体育が楽しかったのね

と、優しく答えます。「算数は？どうなの？」などと言わないこと。
子どもはすぐに遊びにいきたい。いかせればよい、そう塾長は言います。ただし・・・、
「ランドセルの中身を全部出して、机に並べてからいってらっしゃい」
と、この一点だけはやらせます。
寝るときに、一つの言葉をかけてあげます。
「明日、またお母さんに何が楽しかったか教えてね」
子どもにとって、振り返るクセづけ、整理整頓のクセづけ、そして明日への楽しい予感。
それだけを教えれば、おのずと勉強好きの子が育つのです。
それが、塾長先生の意見でした。正しいと思います。】

如何でしょう。

私たちの会社の今期のモットーは「5分前・前準備・後始末」です。当たり前のことですが、なかなか難しい。それを一年間掛けて、全員で習慣づけ・クセづけします。家庭も職場も一緒です。早め、早目に行動を起こす。特にお客さまとの約束は絶対です。スピードも大事です。遅れるときは、電話を一本いれます。このことは、やらなければならない仕事の基本ルールの第一です。お客さまや上司からの依頼は、必ずメモをとる。できないことは、安請け合いしない。仕事の基本やルール＆マナーができていない方へは、厳しく指導します。注意してください。

私たちは、いい加減な馴れ合い集団を脱皮します。地方にあっても、最高のお店、日本一のダスキンを目指します。惰性を許さず、適度な緊張感を継続して、自分で自分を高める努力をします。プロとは、常に満足しない人のことだそうです。

さあ、20回目のダスキンフェアが始まります。単なる20回ではなく、過去の1回 // の妥協しない積み重ね、工夫改善の結果の20回です。今年はお客さまに、素敵なおプレゼントも用意しています。全体全員で盛り上げる、年に一度の大イベントです。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

6/21に小林大二さん(ケアサービス事業部)、7/2より高橋律子さん(ホームインステッド事業部)、二名のレギュラーが入社します。新人が入るときは、基本スタイルを見直すチャンスです。温かく受け入れ、厳しく大事に育てます。新人は先輩の後姿、言動、機敏な対応から学び、真似をします。全員が先輩となります。

これから、暑くなってきます。体調管理に気を付けましょう。ありがとうございました。

合掌